

平成31年度 予算

水道事業会計には、収益的収支予算と資本的収支予算の2つがあり、どちらも税込み表示としていますが、収益的収支における純利益には消費税及び地方消費税は含みません。

また、()内の数値は前年度対比での増減率を表しています。

収益的収支(消費税込み)

水道水をつくり、家庭に届けるために必要な経費とその財源です。

その他収入 1億3,014万円(1%減)	純利益 6,316万円
長期前受金戻入(※) 3億792万円(8%増)	減価償却費 10億5,061万円 (7%増)
加入負担金 1億4,400万円(17%減)	資産減耗費 1,686万円(50%増)
(※)「長期前受金戻入」とは、固定資産の取得に当たり、財源となった国庫補助金等のうち、当該年度の減価償却費に対応する額を収益化するもので、現金収入を伴わないため、補てん財源としては使えません。	その他費用 4億7,316万円 (11%減)
水道料金 24億9,770万円 (1%増)	支払利息 1億1,299万円(8%減)
	給・配水費 9,825万円(8%増)
	受水費 7億4,225万円 (1%減)
	浄水費 4億840万円 (10%増)
収益的収入 30億7,976万円 (1%増)	収益的支出 29億252万円 (2%増)

資本的収支(消費税込み)

水道施設の新設、改良をするために必要な経費とその財源です。

主な事業

- 恒久水源確保に係る取水施設整備事業
- 配水施設整備事業(老朽管更新等)

留保資金等 補てん財源	収支不足額 12億8,744万円 (50%増)
出資金 4,018万円(34%増)	その他事業費 7,602万円(59%増)
工事負担金 759万円(71%減)	企業債償還元金 4億7,705万円 (5%増)
企業債 5億円 (25%増)	配水施設整備費 2億6,818万円 (27%減)
	水源・浄水場施設整備費 10億1,396万円 (126%増)
資本的収入 5億4,777万円 (21%増)	資本的支出 18億3,521万円 (40%増)

純利益については、前年度に引き続き黒字となる見込みです。

収益的収支の支出には、減価償却費のように現金支出を伴わないものがあり、これらは企業団内部に留保されます。資本的収支不足額は、このような留保資金等で補てんされます。

また、資本的収支の支出のうち、水源・浄水場施設整備費が大幅に増加したのは、水源問題に係る恒久水源開発を今年度中に完了させるための事業が集中したことによるものです。

今後もより一層の経費節減等を行いながら、健全経営に努めてまいります。